

【NEWS RELEASE】

2020年3月3日

SMBC日興証券株式会社

三井倉庫ホールディングス株式会社のグリーンボンド引受けのお知らせ

SMBC日興証券株式会社は、この度、三井倉庫ホールディングス株式会社(代表取締役社長:古賀 博文、本社所在地:東京都港区、以下「三井倉庫」)が発行するグリーンボンド(以下「本グリーンボンド」)の引受けにおいて、事務主幹事及びグリーンボンド・ストラクチャリング・エージェント*1を務めることになりましたのでお知らせいたします。

三井倉庫は、多様な産業・地域における顧客ニーズにフレキシブルに対応するフルスペックの物流機能を備え、グローバルに物流事業を展開する総合物流企業グループの持株会社です。

同グループは「物流から価値を」というビジョンの下、地球環境の保全に貢献し、社会から一層信頼される企業グループを目指すことを理念とし、施設屋上の緑化および太陽光パネルの設置、社用車のエコカー切り替え等、環境マネジメントに積極的に取り組んでおります。また、2019年9月には国土交通省等が提唱する「ホワイト物流」推進運動にも賛同しています。この運動は、効率的な物流体系の構築により、トラックドライバーを取り巻く状況を好転させることを主目的としていますが、環境負荷低減推進も副次的効果として期待されており、グループ全体で環境負荷の低減、持続可能で安定的な物流機能の確保・発展にも貢献していくことを目指しています。

本グリーンボンドの発行はかかる取り組みの一環として実施され、その調達資金は、同社グループにおける成長領域であるヘルスケア事業の専用物流施設「関東 P&M センター II (仮称)」の建設資金に充当されます。「関東 P&M センター II (仮称)」はCASBEE 認証*2を取得予定であり、物流業務省力化、太陽光発電、全館 LED 照明等、環境負荷低減推進に資する設計となっております。

当社では、金融・資本市場におけるビジネスを通じた環境・社会課題の解決のため、専門部署である「SDGs ファイナンス室」を設置し、ESG の推進に積極的に取り組んでおります。この度の引受けは、当社におけるグリーンボンド及び SDGs ファイナンスに係る知見を示すと同時に、日本における ESG 投資、ESG をテーマとした商品の更なる拡大に繋がるものと考えております。また、本グリーンボンドの引受けを通じて、当社は SDGs の掲げる「エネルギーをみんなにそしてクリーンに」及び「気候変動に具体的な対策を」の目標達成に貢献していきます。

いっしょに、明日のこと。
Share the Future

SMBC日興証券

- ※1 グリーンボンドのフレームワークの策定及びセカンドパーティー・オピニオン取得の助言等を通じて、グリーンボンドの発行支援を行う者。
- ※2 一般財団法人 建築環境・省エネルギー機構 (IBEC) により認定された認定評価機関において、その評価結果の妥当性を認証する第三者による不動産評価認証制度。建築物の環境性能を評価し格付け(ランク C~ランク S)する手法で、省エネや省資源、リサイクル性能など環境負荷軽減の側面に加え、景観への配慮なども含めた建築物の環境性能を総合的に評価する。

【今回発行される三井倉庫ホールディングス株式会社第 18 回無担保社債 (三井倉庫ホールディングスグリーンボンド)の概要】

| | |
|----------------------------------|---|
| 名称 | 三井倉庫ホールディングス株式会社第 18 回無担保社債(グリーンボンド) (別称: 三井倉庫ホールディングスグリーンボンド) |
| 年限 | 10 年 |
| 利率 | 0.450% |
| 発行額 | 50 億円 |
| 条件決定日 | 2020 年 3 月 3 日 |
| 払込日 | 2020 年 3 月 10 日 |
| 償還日 | 2030 年 3 月 8 日 |
| 取得格付 | A-(JCR) |
| 事務主幹事 | SMBC日興証券株式会社 |
| グリーンボンド・ ストラクチャリング・ エージェント | SMBC日興証券株式会社 |

以上